

## 「地域密着型金融推進計画」の進捗状況について

### 【平成30年度の進捗状況】

当金庫は恒久的な枠組みの下、持続可能な地域密着型金融の推進を図るべく「基本方針」及び「地域密着型金融推進計画」を策定し、計画実現に努めています。

平成30年4月～平成31年3月までの計画の進捗状況について取り纏めましたので公表いたします。

#### 1. 基本方針

当金庫は地域密着型金融の推進が地域の活性化、地域発展のために不可欠であることを認識し、また当金庫の経営力強化にも地域密着型金融の推進が課題であることを位置づけ、地域の皆様が何を求めているか、当金庫が地域の皆様に何が出来るか、この視点を踏まえて、地域密着型金融の推進に取り組めます。また一層の経営力の強化を図るため、ガバナンスの強化、コンプライアンス態勢・リスク管理態勢の強化に取り組めます。

#### 2. 重点施策

- (1) 地域金融機関は地域への資金供給が重要な役割であり、当金庫は継続して地域への融資の量的拡大を図ります。
- (2) 取引先企業の支援強化の取組み、中小企業金融における貸出機能の強化を図ります。
- (3) 資金供給者としての役割に留まらず、持続可能な地域貢献に努めます。

#### 3. 具体的取組み

##### (1) 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化として、「創業・新事業支援」、「経営改善支援」、「事業再生支援」、「事業承継支援」に取り組めました。

平成30年度の「創業・新事業支援」推進として、創業支援融資は54先724,100千円の実績を上げることが出来ました。「経営改善支援」については、営業統括部・事業支援部が中心となり、営業店と連携して経営課題の把握、経営改善計画策定支援等のコンサルティング機能の発揮に努め、経営改善支援の強化を図りました。また、当金庫職員の目利き能力の向上、経営支援ノウハウの修得を目指し、「事業性評価(理解)と目利きの養成」研修への参加や「事業再生支援」については、再生支援先を選定して再生支援に取り組めました。

「事業承継支援」については、事業承継に関する情報提供を実施し、M&Aを含めた事業承継支援を図るべく、信金キャピタル(株)との連携を強化し、支援強化に取り組めました。また、「ばんしん後継者養成塾」において、後継者の育成支援、情報提供に取り組んでいます。

##### (2) 地域の面的再生への積極的な参画

専門家・コンサルタントなどによる業種別セミナー（医療業講演会、遊技業講演会、飲食業講演会、介護・福祉事業者向け講演会、住宅販売・不動産業向け講演会、収益物件所有者向け講演会）を開催して、335名の方が参加されました。また、平成30年度においても、地域の創業率向上に向けた施策として、起業・創業に係る情報提供の場を設け、地域活性化に努めました。

##### (3) 地域や利用者に対する積極的な情報発信

総代懇親会での報告、ホームページにおいて公表して、当金庫における地域密着型金融推進計画の情報発信に努めています。

#### 4. 進捗状況の評価及び今後の課題

平成30年4月～平成31年3月における地域密着型金融の推進については、概ね計画どおりの取組み実績を残すことができました。

今後も、地域密着型金融の取組みの本質を踏まえて、地域密着型金融の更なる推進強化を図ってまいります。

# 平成30年度「地域密着型金融推進計画」取組内容・実績

項目		取組方針	具体的取組み			
1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮						
創業・新事業を目指す顧客企業への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業・新事業展開に応じた適切な支援の強化</li> <li>創業・新事業展開に関する情報提供</li> </ul>	<p>具体的取組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>創業から間の無い事業者、独立開業する新規事業者、県等公的機関からの補助金受給者による開業先等に対する支援強化に積極的に取組みました。</li> <li>商工会議所など外部機関の創業・新事業展開等に関する情報提供を行うとともに、営業店職員に対する県保証協会付制度融資等の勉強会を行いました。</li> <li>高砂市・伊丹市・相生市・宝塚市と共催で「創業セミナー」を実施</li> </ul>	<p>実績（件数、金額、会社名等詳細に記入）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度実績 合計 54先 724,100千円</li> <li>創業セミナー参加者 高砂市 16名、伊丹市 10名、相生市 10名、宝塚市 8名</li> </ul>	<p>取組み結果に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度実績が54先（前年比2先増）となり、前年度実績よりやや増加しております。事業所が減少傾向の中、創業を志す事業者に適切な支援を行う使命、役割を再度確認し、次年度以降に活かしてまいります。</li> <li>創業希望者に対する情報提供及び潜在的創業希望者の掘り起しに向け、一定の情報を発信することはできましたが、更なる内容の充実を図り顧客企業の支援に努めます。</li> </ul>	<p>評価を踏まえた次年度の取組み方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>創業支援関連の融資商品と営業現場を通じた創業関連情報の連携を強化して取組み、創業支援の体制を強化します。</li> <li>今後も創業・新規事業支援に役立つ情報収集を行い、顧客企業に対して有効に情報提供できるよう取組み、又、セミナー参加者へのフォローアップや創業者向け支援体制の強化を図ります。</li> </ul>	
		<p>具体的取組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「川上・川下ビジネスネットワーク事業」、「大阪府ものづくり B2B ネットワーク」を始めとした各種取組みを積極的に活用し、取引先の販路開拓支援、及び顧客の経営課題の解決に取組みました。</li> </ul>	<p>実績（件数、金額、会社名等詳細に記入）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「川上・川下ビジネスネットワーク事業」実績 【集中支援プレゼン案件 3件】 【ビジネスマッチングフェア 2019】 4社エントリー 【シーズ企業調査案件】 13社の調査を実施</li> <li>「大阪府ものづくり B2B ネットワー</li> </ul>	<p>取組み結果に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去に連携したシーズ調査案件について、重点的にサポートを実施しております。一定の経営支援成果は見られますが、今後もシーズ調査企業における経営改善が具体的な成果となるよう、営業店と連携しつつ支援を図る必要があると考えております。</li> </ul>	<p>評価を踏まえた次年度の取組み方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>川上・川下ビジネスネットワークについては、過去に外部連携した全先を営業店に通知し、再調査を含めた外部機関の活用、及び他信金に先行されないよう、ビジネスマッチングの枠組みの有効活用を推進します。</li> </ul>	
成長段階における更なる飛躍が見込まれる顧客企業への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスマッチング等を活用した支援</li> </ul>	<p>具体的取組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「川上・川下ビジネスネットワーク事業」、「大阪府ものづくり B2B ネットワーク」を始めとした各種取組みを積極的に活用し、取引先の販路開拓支援、及び顧客の経営課題の解決に取組みました。</li> </ul>	<p>実績（件数、金額、会社名等詳細に記入）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「川上・川下ビジネスネットワーク事業」実績 【集中支援プレゼン案件 3件】 【ビジネスマッチングフェア 2019】 4社エントリー 【シーズ企業調査案件】 13社の調査を実施</li> <li>「大阪府ものづくり B2B ネットワー</li> </ul>	<p>取組み結果に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去に連携したシーズ調査案件について、重点的にサポートを実施しております。一定の経営支援成果は見られますが、今後もシーズ調査企業における経営改善が具体的な成果となるよう、営業店と連携しつつ支援を図る必要があると考えております。</li> </ul>	<p>評価を踏まえた次年度の取組み方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>川上・川下ビジネスネットワークについては、過去に外部連携した全先を営業店に通知し、再調査を含めた外部機関の活用、及び他信金に先行されないよう、ビジネスマッチングの枠組みの有効活用を推進します。</li> </ul>	

			ク実績 【発注情報 20 件】 【受注情報 54 件】 ・人材に関する課題解決に向けたパーソルホールディングス㈱との契約実績 3 件	パーソルホールディングス㈱については、人材に関する課題解決ツールとして、顧客へ周知し活用が始まりました。まだまだ件数も少なく目立った実績は出ておりませんが、営業店に積極的に呼びかけていき成果に繋げてまいります。	大阪府ものづくり B2B ネットワークについては、平成 29 年度より連携を始め活用も進んでおり、引き続き有効活用を推進します。次年度は、営業推進四課及び 8 名の営業店サポート職員を中心に情報収集に努めるとともに、会計士・弁護士等の外部機関との連携により顧客企業への支援を強化致します。
経営改善が必要な顧客企業への支援	・身近な情報提供・経営指導・相談	具体的取組み内容	実績（件数、金額、会社名等詳細に記入）	取組み結果に対する評価	評価を踏まえた次年度の取組み方針
		<ul style="list-style-type: none"> <li>貸出条件変更等の実施先について、経営改善計画書の策定支援を行っております。</li> <li>また、モニタリングを定期的を実施し、経営改善計画書の進捗状況の把握等を通じて、コンサルティング機能の発揮に努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸出条件変更等の実施先数（正常先～破綻懸念先）は、平成 31 年 3 月末現在 379 先です。うち経営改善計画書の策定先数は 322 先となっております。策定率は 84.9%となっております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営改善計画書策定率は 84.9%となっております。未策定 57 先については、経営改善計画書の策定支援を行い、早期に経営改善計画書の策定に努めます。</li> <li>策定率は高水準を維持していますが、今後は内容を重視し、真の意味での取引先の経営改善支援に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度においても経営改善計画書の策定支援を行い、四半期毎に営業店が「経営改善計画進捗管理表」を作成し、達成状況等の実態把握に努めます。売上・利益のいずれかが計画に対し、80%に満たない場合には原因を分析し、審査部、事業支援部と営業店が一体となり、取引先の経営改善に向けて、決算後、速やかに経営改善計画書の再策定支援に努めます。</li> </ul>
事業再生や業種転換が必要な顧客企業への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期事業再生に向けた積極的取組み</li> <li>再生支援協議会等との連携強化</li> </ul>	具体的取組み内容	実績（件数、金額、会社名等詳細に記入）	取組み結果に対する評価	評価を踏まえた次年度の取組み方針
		<ul style="list-style-type: none"> <li>コンサルティング機能の発揮に努め、事業再生及び経営改善など企業のライフステージに応じた取引先支援に努めます。</li> <li>中小企業再生支援協議会との連携・経営改善支援センター事業の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営サポート保証（事業再生計画実施関連保証）を活用した新規融資 <u>2 先 120 百万円</u></li> <li>中小企業再生支援協議会完了案件（当庫主導・メイン先）<u>1 先 661 百万円</u></li> <li>協議会の支援による事業再生計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営サポート保証（事業再生計画実施関連保証）を活用した新規融資は 2 先の 120 百万円と不本意な結果となっています。</li> <li>兵庫県中小企業再生支援協議会と連携し、企業の実態に応じた経営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業店と本部の連携を図りながら取引先の事業再生・経営改善に努めます。</li> <li>再生支援先の支援方針を明確にし、再生支援協議会や専門家との連携</li> </ul>

		を図り、事業再生スキームの再生手法を活用した事業再生に努めています。	<p>「自主再建型事業再生」の出口資金 協調融資の実行 <u>1先 210 百万円</u></p> <p>・協議会版 DDS の実施 <u>1先 221 百万円</u></p> <p>・経営改善支援センター事業完了案件先 <u>2先 377 百万円</u></p>	<p>改善計画書を策定しております。 また、再生支援協議会との連携により、取引先の事業再生・経営改善に努めています。</p> <p>・経営改善支援センター事業利用先については、より精緻な経営改善計画策定が必要な先や、再生支援協議会を利用した先の中から再計画を要する先に対して利用を図り、取引先の事業再生・経営改善に努めています。</p>	<p>による取引先の事業再生・経営改善に取組みます。</p> <p>・当庫主導にて取組んでいる再生支援協議会完了案件先 13 先に対しては、コンサルティング機能を發揮し計画の実行支援に努めます。今後も引続き再生支援協議会と連携し、企業の実態に応じた経営改善計画書の策定支援を実施します。</p>												
事業承継が必要な顧客企業への支援	・M&Aを含めた事業承継支援	<p>具体的取組み内容</p> <p>・「ばんしん後継者養成塾」を開催し、事業承継に関する情報提供に取り組みとともに、情報交換の場を提供しました。</p> <p>・営業店からのM&amp;A情報を営業統括部にて集約し、成約の可能性の検討を行うとともに営業店職員と同行</p>	<p>実績（件数、金額、会社名等詳細に記入）</p> <p>ばんしん後継者養成塾」開催 ＜平成 30 年度＞</p> <table border="1"> <tr> <td>第 1 回</td> <td>6 月 27 日</td> <td>43 名</td> </tr> <tr> <td>第 2 回</td> <td>11 月 22 日～23 日</td> <td>40 名</td> </tr> <tr> <td>第 3 回</td> <td>1 月 31 日</td> <td>41 名</td> </tr> <tr> <td>第 4 回</td> <td>3 月 1 日～2 日</td> <td>31 名</td> </tr> </table>	第 1 回	6 月 27 日	43 名	第 2 回	11 月 22 日～23 日	40 名	第 3 回	1 月 31 日	41 名	第 4 回	3 月 1 日～2 日	31 名	<p>取組み結果に対する評価</p> <p>・「ばんしん後継者養成塾」は平成 30 年度で 13 年目となり、3 年コースの 2 年目として実施しました。内容については、大部分の塾生から「大満足」「満足」の評価を得ており、また、グループ討議等の情報交換の場の要望が、多数挙がっています</p> <p>・『情報報告シート』により、多くの情報が集まるようにはなりませんが、まだまだ情報不足は否めな</p>	<p>評価を踏まえた次年度の取組み方針</p> <p>・実務に即した講義を多く取り入れるとともに、ビジネスマッチングの機会を盛り込んだカリキュラムといたします</p> <p>・次年度は、営業推進四課及び 8 名の営業店サポート職員を中心に情報収集に努めるとともに、会計</p>
第 1 回	6 月 27 日	43 名															
第 2 回	11 月 22 日～23 日	40 名															
第 3 回	1 月 31 日	41 名															
第 4 回	3 月 1 日～2 日	31 名															

			しサポートを行いました。		い状況です。継続して情報収集に努めます。	士・弁護士等の外部機関との連携により顧客企業への支援を強化致します。
			具体的取組み内容	実績（件数、金額、会社名等詳細に記入）	取組み結果に対する評価	評価を踏まえた次年度の取組み方針
コンサルティング機能の強化	・目利き力、経営改善支援を含めたコンサルティング力のアップを目指した人材育成	・研修等により、職員の目利き能力の向上、事業再生のノウハウ習得により、経営改善支援を含めたコンサルティング機能の充実を目指すことを目的とした人材育成の徹底を図りました。	<p>&lt;平成 30 年 4 月 1 日 ～平成 31 年 3 月 31 日&gt;</p> <p>【外部研修派遣実績】 計 9 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目利き力関連講座 2 名</li> <li>・企業、事業再生関連講座 3 名</li> <li>・コンサルティング関連講座 2 名</li> <li>・事業性評価関連講座 2 名</li> </ul> <p>【庫内研修】</p> <p>&lt;外部講師&gt;</p> <p>①事業性評価 60 名（9 月 27 日／支店長研修）</p> <p>②事業承継 57 名（10 月 19 日／管理職研修） 54 名（11 月 16 日／管理職研修） 62 名（1 月 24 日／支店長研修）</p> <p>③企業支援のための外部連携スキーム 57 名（10 月 19 日／管理職研修） 54 名（11 月 16 日／管理職研修）</p> <p>④創業支援 47 名（11 月 27 日／渉外係研修） 50 名（1 月 29 日／渉外係研修） 48 名（2 月 6 日／渉外研修）</p>	<p>&lt;平成 30 年 4 月 1 日 ～平成 31 年 3 月 31 日&gt;</p> <p>【外部研修派遣実績】 計 9 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目利き力関連講座 2 名</li> <li>・企業、事業再生関連講座 3 名</li> <li>・コンサルティング関連講座 2 名</li> <li>・事業性評価関連講座 2 名</li> </ul> <p>【庫内研修】</p> <p>&lt;外部講師&gt;</p> <p>①事業性評価 60 名（9 月 27 日／支店長研修）</p> <p>②事業承継 57 名（10 月 19 日／管理職研修） 54 名（11 月 16 日／管理職研修） 62 名（1 月 24 日／支店長研修）</p> <p>③企業支援のための外部連携スキーム 57 名（10 月 19 日／管理職研修） 54 名（11 月 16 日／管理職研修）</p> <p>④創業支援 47 名（11 月 27 日／渉外係研修） 50 名（1 月 29 日／渉外係研修） 48 名（2 月 6 日／渉外研修）</p>	<p>・コンサルティング機能の強化を目的として、目利き能力の向上、事業再生のノウハウ習得等の研修を計画どおり実施することで、概ね予定通りの効果があったものと考えます。</p>	<p>・コンサルティング機能の強化を目的として、目利き能力の向上・企業再生支援・コンサルティング能力の向上に関する外部研修に、引続き職員を派遣する予定です。また、外部研修受講者を研修講師として研修の実施や、外部講師を招聘しての研修実施等、更なる職員の能力向上に努めていく方針です。</p>
項目	取組方針	具体的取組み				
2. 地域の面的再生への積極的な参画						
			具体的取組み内容	実績（件数、金額、会社名等詳細に記入）	取組み結果に対する評価	評価を踏まえた次年度の取組み方針
地域の面的再生・活性化につな	・地域との連携強化	・業種別に専門家・コンサル等によるセミナーを開催して情報提供を図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療業講演会（6 月 21 日） 34 名</li> <li>・遊技業講演会（5 月 16 日） 56 名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演内容については、毎回満足度は高いものの、希望テーマ・希望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートで挙げられた希望テーマ・講師、また社会情勢のニーズ</li> </ul>	

<p>がる多様なサービスの提供</p>	<p>・景気動向調査の実施</p>	<p>り、情報交換の場を提供し、地域への連携強化に努めています。</p> <p>・ 3 ヶ月毎に継続した景気動向調査を実施し、地域の経済動向を公表し、地域経済への貢献を図っています。</p>	<p>・ 飲食業講演会（5月28日） 35名</p> <p>・ 収益物件所有者向け講演会（2月13日） 75名</p> <p>・ 住宅販売・不動産業者向け講演会（2月14日） 54名</p> <p>・ 介護・福祉事業者向け講演会（3月7日） 81名</p> <p>・ 第51回「ばんしん景況レポート」（7月発行）</p> <p>・ 第52回「ばんしん景況レポート」（10月発行）</p> <p>・ 第53回「ばんしん景況レポート」（1月発行）</p> <p>・ 第54回「ばんしん景況レポート」（4月発行）</p>	<p>講師、開催地、開催日等、今後の要望も多数見受けられ、ニーズに沿った内容での講演会実施が必要であると認識しています。</p> <p>創業支援については、目に見える形での実績は未だないものの、創業の裾野を広げる取組みとして、今後も継続していく事が肝要であると考えております。</p> <p>・ 顧客企業が営業地域内の景気動向を把握するために必要な情報の展開が図れたものと捉えています。今後も取引先に有益な情報発信に努める予定です。</p>	<p>にあったものを優先的に次年度の講演会に取り入れる方針です。さらに、必要に応じて回数の追加、新業種講演会の追加、開催地の変更を検討します。</p> <p>また、創業支援施策については、地方創生の取組み深化の観点から自治体と連携した形式でのセミナー開催を予定しております。</p> <p>・ 次年度においても、景気動向に関する情報発信に努めることで、地域経済の発展に貢献していく方針です。</p>
<p>地域社会への貢献・還元 地域の利用者の満足度を重視した経営</p>	<p>・ 地域社会への貢献</p> <p>・ 顧客アンケートの実施</p>	<p>具体的取組み内容</p> <p>・ 地域社会への貢献・還元がなされる取組み及び協賛を行いました。</p> <p>・ 金庫に対する意見や要望、利用者ニーズを把握するためのアンケート調査等として、年1回実施し、アンケート結果を踏まえて利用者満足度向上に向けた施策の検討を行い、適切な改善の実施に努めました。</p>	<p>・ 姫路在住外国人支援として日本語・多言語スピーチコンテストの協賛を行っています。</p> <p>・ 平成31年2月に実施した『店頭サービスお客様アンケート』の結果を、令和元年6月開催の総代会で報告すると共に、本部・営業店にして結果を還元し、改善に努めました。</p>	<p>取組み結果に対する評価</p> <p>・ スピーチコンテストを通して「ひめじベトナム人支援者懇話会」と連携して地域社会へ貢献しています。</p> <p>・ 総合結果では、約80%のお客様に支店のサービスに「満足」、「ほぼ満足」と評価していただきました。また、今後、金庫に期待するものとして、「ATMの増設」「ATM利用時間の延長」「駐車場の拡張」が上位を占めています。</p>	<p>評価を踏まえた次年度の取組み方針</p> <p>・ 引き続き支援を継続し、地域貢献に努める方針です。</p> <p>・ 引き続き、年に1度の店頭アンケートを継続していき、更なるお客様満足度向上に向けた取組みを計画してまいります。</p>

項目	取組方針	具体的取組み			
<b>3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信</b>					
地域密着型金融推進に係る情報発信	・具体的な成果や経営改善支援等の取組み実績の公表	具体的取組み内容 ・年度ごとに成果や取組み実績をホームページに掲載して公表しております。	実績（件数、金額、会社名等詳細に記入） ・平成 30 年度の実績については、総代会にて報告し、ディスクロージャー誌・ホームページにおいても公表しました。	取組み結果に対する評価 ・情報発信については、ディスクロージャー誌・ホームページで発信しています。	評価を踏まえた次年度の取組み方針 ・今後もディスクロージャー誌・ホームページにおいて積極的に情報発信を行ってまいります。 また、より一層の充実した内容が提供できるよう取組みます。